

令和7年3月3日

令和6年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	豊島区立池袋幼稚園
所在地	豊島区池袋3-30-22

1. 活動のテーマ

<テーマ>

夢中になって遊ぶ幼児の育成を目指して～遊具とのかかわり～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)

本園は、遊びの中での学びを大切にする“遊びを中心とした保育”を行っている。その中で、幼児が夢中になって遊べるように、幼児の興味関心に合わせて、環境の構成・再構成を行っている。本事業では、幼児が場作りをする“遊具”に焦点を当て、遊具との関わりの中で、探求し、遊びを深めて行かれるようにした。

2. 活動スケジュール

- ・9月以降、順次新しい環境を設定していく。
- ・9月～3月までの遊びの中で事例検討を行い、PDCA サイクルを回して、環境の改善を図っていくことで、探求を支えて行く。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

巧技台→ビームやハシゴなどをつなげ様々な体の動きを楽しめるようなアスレチックを作ったり、ごっこ遊びの場作りの道具として使うことができるようにした。

ゲームボックス→既存のゲームボックスのサイズが大きく、子どもたちには扱いにくいものであったため、一回り小さいサイズのものを用意した。

ミニ机→2人程度で使えるサイズの机を用意し、子どもたちが設定した場の中で、使えるようにした。

机スタンド→机置場のスタンドを付けることで、子どもたち自身で出し入れ出来るように環境を整えた。

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

* 日々の遊びの中で、S：エピソード・A：読み取り・B：教師の願い・C：具体的な援助と環境構成の視点で記録を取り、子どもたちの読み取りから、環境構成を考えていった。

* 遊びの例

4 歳児：【お家ごっこ】、【船ごっこ】、【電車作り（線路作り）】、【宇宙ごっこ】、【プリンセスごっこ】、【消防士ごっこ】、【海ごっこ】、【迷路作り】、【アスレチックごっこ】、【パトカーごっこ】、【バスごっこ】

5 歳児：【サーキットごっこ】、【プリンセスごっこ】、【お寿司屋さんごっこ】、【電車ごっこ】

【水族館ごっこ】、【オッチン作り】、【車作り】、【遊園地ごっこ・空飛ぶ自転車を作ろう】、【温泉ごっこ】、【ステージ作り】、【学校ごっこ】

<活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

・年少では、中型積み木のような扱いやすいサイズの遊具を使って、道路を作ったり、お家を作ったりすることを楽しむ姿が見られる。年長では、大型積み木や巧技台、ゲームボックスなどの友達と一緒に運ぶ必要のある大きさや重さの遊具を使って、ダイナミックな場作りを楽しむ姿が見られた。

・4 歳児宇宙ごっこでは、中型積み木を組み合わせて宇宙船を作り、友達と一緒に乗って操縦したり、宇宙遊泳の動きをしたりすることを楽しんでいた。その中で、高い場所から宇宙に飛び出したいという思いが幼児の中から生まれ、積み木を階段の形に積み始めた。飛び出す部分をどう作るか悩んでいると、1 人の幼児が「滑り台で降りるのがいいと思う」と教師や友達に伝え、幼児が思い描いた宇宙船を完成させることができた。

・5 歳児遊園地作り・空飛ぶ自転車ごっこでは、幼児が三輪車で床より高い場所を走りたいという思いをもち、どのように再現するか、試行錯誤する姿見られた。その中で、巧技台を使って床から高い場所に道路を作ることを考えるが、巧技台の穴にタイヤがはまってしまう課題が生じた。そこで、一緒に作っている友達と話しあい、段ボールを敷くことで塞ぐことを思いつき、空飛ぶ自転車を実現させていた。

<活動の様子>

活動の様子が分かる写真を2枚以上貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・発達に応じて環境を設定するだけでなく、子どもたちの興味関心を記録を通して読み取り、環境を設定することが必要である。
- ・巧技台や積み木など、汎用性のある道具を使って、子どもたちが様々な工夫する姿が見られた。「こんな風にするのではないか」と教師が意図をもち、環境を設定することが求められるが、一方で、意図しない使い方をすることもある。その際に、その姿を柔軟に捉え、さらなる遊びの展開を支えて行かれるように、環境を再構成していくことが必要である。

以上